

令和2年度(2020年度)八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書(選定資料作成委員会)

種目 地図 (1/1枚目)

発行者名	東京書籍	帝国書院
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)について ・学習指導要領の目標や内容を押さえている。 ・1ページあたりの情報量が多く、調べ学習に活用できる。領土・領海などについての説明(15～16ページ)がわかりやすい。 ・一般的な地図帳のオリエンテーションや地図帳の使用方を説明している。(導入に6ページ・地図帳の使い方に2ページ) ・地図記号についての説明は充実している。 ・自然災害の情報(98ページ)が、良く整理されており、読み取りやすい。 ・「日本の歴史」のページでは世界とのかかわりについても触れている。モンゴル帝国の版図などが一目でわかる。 ・小田原を例として、鳥瞰図→真上からの図→地図、という順で視点の変換を説明している。 ・世界遺産・史跡については、良く目立つように表記してある。 ・首都東京のページでは、山手線の色を緑色で表すなどの工夫で、見やすくなっている。八王子市の地図の縮尺は50万分の1、島しょ部については、別枠で拡大図として取り上げられる。 ・オリンピックとワールドカップを一つの図にまとめて取り上げている。(85ページ)</p> <p>(2)3年生から地図が使用ということあり、巻頭は、親しみやすい絵から始まっている。</p>	<p>(1)について ・指導要領の目標や内容を押さえている。 ・ページ数が多いため一つの図表が大きい。、3年生からの使用開始でも使いやすくなるための工夫をしている。領土領域のページでは国の範囲がイラストでわかりやすく表現している。 ・「地図のやくそく」を巻頭に整理しており、索引についても説明がていねいで、地図帳をどのように使うのかイメージしやすい。(導入に8ページ・地図帳の使い方に4ページ) ・地図記号についての説明は充実している。 ・日本の産業や歴史、世界に関するページが充実している。自然災害のページもある。(91ページ) ・6年の学習に対応して、世界の国々についてもしっかりと押さえてある。 ・「広く見渡す地図」と「詳しい地図」などいくつかのパターンの地図が掲載してあり、学年に応じて活用できる。 ・世界遺産・史跡については、良く目立つように表記してある。 ・首都東京のページでは区部全域が一覧できるようになっている。東京都についての地図も豊富。八王子市の縮尺は20万分の1。また東京都については、島しょ部の距離感を一覧できるページもある。(65ページ) ・オリンピックとパラリンピックを一つの図にまとめて取り上げている。</p> <p>(2)3年生の導入から発達段階をおって、内容が書かれている。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)子どもの目線を重視し、関心や意欲が広がる工夫をしている。また同社の教科書と一体となった編集が行われている。</p> <p>(2)について ・索引の分量が多く、字の大きさ、配色に配慮している。 ・地球儀の指導のページ(55～56ページ)は、指導しやすい。 ・南を上にした地図(86ページ)があるなど、多面的な見方を促す工夫がみられる。</p>	<p>(1)地図の位置や形を把握しやすいように工夫している。</p> <p>(2)について ・地図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳にかかわる内容が充実している。 ・地球儀は世界地図などの紙面で指導内容を意識している。 ・防災マップづくりなど、児童が主体的に地図づくりに取り組める工夫がしてある。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)について ・太字に白い縁取りをして、見やすくしている。 ・地図は大きく見やすく描かれている。描き方も工夫している。 ・距離を測る目安として、定規を模した図があるとともに、実測を促すような課題をキャラクターがふきだして提示している。 ・さくいんの使い方を漫画形式で、巻頭で説明しており、使いやすい。</p> <p>(2)ユニバーサルデザインフォントや色使いについて工夫してある。また再生紙の使用や植物性インキなど環境への配慮も見られる。</p>	<p>(1)について ・絵や地図が大きく配置してあり、見やすくなっている。文字の回りを白く縁をつけて、読みやすくしている。 ・世界のことや産業についてなど、付随する情報がある。 ・巻頭の日本地図に、周辺国名が記入してあり、他国との関係に関心が向きやすい。 ・さくいんの使い方は、「地図帳の使い方」に含まれており、一連の学習の中で学ぶことになる。</p> <p>(2)ユニバーサルデザインフォントや色使いについて工夫してある。また再生紙の使用や植物性インキなど環境への配慮も見られる。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)について ・目次が6ページにあり、目的のページを探しやすい。日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子も捉えることができる。 ・世界の料理を紹介(64ページ)するなどして、外国に興味をもちやすいように工夫している。 ・都道府県の特徴については、巻頭(5ページ)にあり、使用しやすい。 ・キャラクターの吹き出しに、体験を促すものが多く、地図に親しみをもたせるのに有効である。</p> <p>(2)地図の使い方については丁寧な説明があり、家庭学習にも使いやすい。 (3)「首都東京」という項目があり、東京のことが絵入りで詳しく描かれている。</p>	<p>(1)について ・地名の横に特産物が描いてあり、活用しやすい。 ・各国の挨拶などが「集まれ、世界の子供達」というコラムに整理され、興味をもちやすいようにしてある。 ・都道府県の、形や名称など特徴を詳しく説明してある。(115ページ) ・「地図マスターへの道」は、地図に親しみをもたせるのに有効である。</p> <p>(2)地図の使い方については丁寧な説明があり、家庭学習にも使いやすい。 (3)日本の首都東京として、各国の大使館や主な交通がのっている。全体として首都圏の情報が豊かである。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>(1)全102ページ、重さはあまり差がないが、やや東京書籍が重い。(紙質のため) (2)水田と畑が別系の色(水田＝緑、畑＝オレンジ)で判別しやすい。 (3)インターネットの活用について工夫している。 (4)イラストのキャラクターの吹き出しによる語りかけは、親しみやすい。 (5)使用フォントはやや丸みがある。</p>	<p>(1)全120ページ、重さはあまり差がないが、やや帝国書院が軽い。(紙質のため) (2)沖縄の地下ダムなど、資料が豊富である。 (3)インターネットの活用について工夫している。 (4)イラストのキャラクターの吹き出しによる語りかけは、親しみやすい。 (5)使用フォントはやや明朝体に近い。</p>